



銀座六丁目 10 地区第一種市街地再開発事業

「GINZA SIX」ファクトシート

(2017.2.1 時点)

<目次>

■GINZA SIX 施設概要	…1
■オフィス(7~12 階、13 階一部)	…3
■商業(地下 2 階~地上 6 階、13 階一部)	…4
■文化・交流施設「観世能楽堂」(地下 3 階)	…5
■地域貢献	
(1) 安全で快適な交通・歩行者ネットワークの拡充	…5
(2) 「観光バス乗降所」(1 階)、「ツーリストサービスセンター」(1 階)	…6
(3) 屋上庭園「GINZA SIX ガーデン」(屋上)	…7
(4) 建物の高い耐震性と安定した電力供給	…8
(5) 防災備蓄と帰宅困難者の受入れ	…8

【本件に関するお問い合わせ先】

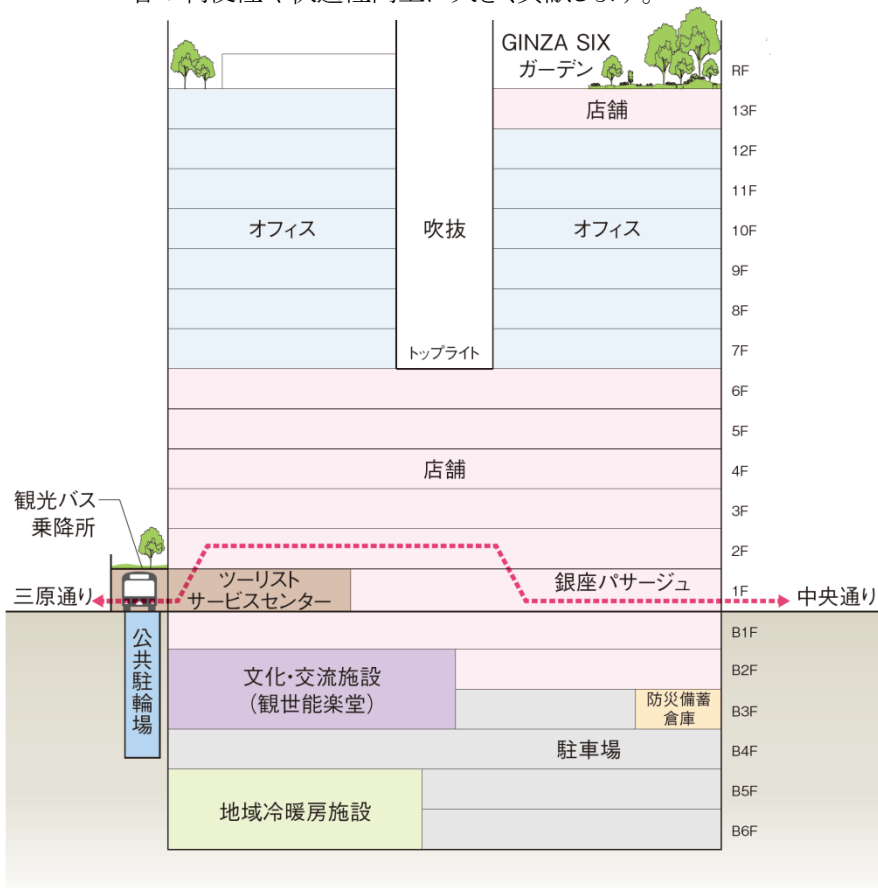
銀座六丁目 10 地区市街地再開発組合 広報事務局(森ビル株式会社広報室 田澤、深野、佐々)

TEL:03-6406-6606 FAX:03-6406-9306 E-mail:koho@mori.co.jp

■GINZA SIX 施設概要

ワールドクラスクオリティと文化性をもつ大規模複合施設

2街区一体整備の再開発事業により誕生する大規模複合施設「GINZA SIX」。銀座中央通りに面して、間口約115m、延床約148,700㎡におよぶ施設内には、オフィスや商業、文化・交流施設など多彩な都市機能とともに、屋上庭園や観光バス乗降所、安全で快適な交通・歩行者ネットワーク、また、非常用発電設備や帰宅困難者3,000名の受入れに備えた防災用備蓄倉庫等の防災支援機能を整備し、地域に開かれた場所として、来街者の利便性や快適性向上に大きく貢献します。



屋上庭園(屋上)

銀座エリア最大級となる、地域に開かれた約4,000㎡の屋上庭園「GINZA SIX ガーデン」を整備。

オフィス(7階～12階/13階(一部))

事務所床面積約38,000㎡(約11,500坪)、1フロア貸室面積(基準階)は約6,140㎡(約1,857坪)で、都内最大級。

商業施設(地下2階～6階/13階(一部))

約47,000㎡(約14,200坪)の売り場面積となる商業空間を創出。ワールドクラスクオリティの241ブランドが集結。

観光拠点(1階)

銀座の街の観光案内拠点ともなる「ツーリストサービスセンター」や、銀座初の観光バス乗降所を整備。

文化・交流施設「観世能楽堂」(地下3階)

能楽最大流派「観世流」の拠点、「観世能楽堂」を設置。地域に開かれたホールとして、様々なイベントも実施予定。

敷地面積:約 9,080 ㎡

延床面積:約 148,700 ㎡

階数 :地下 6 階、地上 13 階

<事業概要>

地区名称:	銀座六丁目10地区(東京都中央区)														
事業手法:	第一種市街地再開発事業														
施行者:	銀座六丁目10地区市街地再開発組合														
組合員数:	15名(2017年1月時点)														
所在:	東京都中央区銀座六丁目10番1号														
施設建築物概要:	<table border="0"> <tr> <td>施行区域面積</td> <td>約 1.4ha</td> </tr> <tr> <td>用途</td> <td>店舗、事務所、文化・交流施設、地域冷暖房施設、駐車場</td> </tr> <tr> <td>敷地面積</td> <td>約 9,080 ㎡</td> </tr> <tr> <td>階数</td> <td>地下 6 階、地上 13 階</td> </tr> <tr> <td>建築物の高さ</td> <td>約 56m</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>約 148,700 ㎡</td> </tr> <tr> <td>構造</td> <td>鉄骨造、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造</td> </tr> </table>	施行区域面積	約 1.4ha	用途	店舗、事務所、文化・交流施設、地域冷暖房施設、駐車場	敷地面積	約 9,080 ㎡	階数	地下 6 階、地上 13 階	建築物の高さ	約 56m	延床面積	約 148,700 ㎡	構造	鉄骨造、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造
施行区域面積	約 1.4ha														
用途	店舗、事務所、文化・交流施設、地域冷暖房施設、駐車場														
敷地面積	約 9,080 ㎡														
階数	地下 6 階、地上 13 階														
建築物の高さ	約 56m														
延床面積	約 148,700 ㎡														
構造	鉄骨造、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造														
設計:	銀座六丁目地区市街地再開発計画設計共同体 (鹿島建設株式会社、谷口建築設計研究所)														
外装意匠統括:	谷口建築設計研究所 谷口吉生														
施工:	鹿島建設株式会社														

＜2 街区一体開発の特徴＞

本事業では、2街区の間を走る区道(あづま通り)を三原通りに付け替えることで、新しい大きな街区を創出し、エリア最大の多用途複合施設を実現しました。三原通りに付け替えた従前の道路部分は、建物の下を通す形で敷地内通路とし再整備することで、碁盤の目に整えられた銀座の交通ネットワークを維持しています。



＜建築デザイン＞

破格のスケールながらも銀座の街並みや品格に調和するデザイン

GINZA SIX の外観デザインは、日本を代表する世界的な建築家・谷口吉生氏が手掛けました。中央通りに面して間口約 115m、延床約 148,700 m²という破格のスケールをもつ大規模施設ですが、地域の方々とも連携をとりながら、銀座の街並みが持つ歴史と美しさを惹き立てる建築デザインに仕上がりました。

「ひさし」と「のれん」をイメージしたファサードのデザインは、どちらも人々を迎えるのにふさわしい伝統的な日本の形式で、店舗や流行が変化した場合にも、のれんを掛け替えることで容易に対応し、新しいイメージを演出することができます。また、上層階のオフィスフロアは、中央に吹き抜けをとり、共用廊下に自然光が入るようデザインされています。



GINZA SIX (2017 年 1 月末撮影)



谷口 吉生 氏(谷口建築設計研究所)

1937 年生まれ。建築家。ハーバード大学で建築を学び、丹下健三氏のもとで経験を積む。主な作品に「東京都葛西臨海水族園」「東京国立博物館法隆寺宝物館」「ニューヨーク近代美術館」「京都国立博物館平成知新館」など。

©Timothy Greenfield-Sanders

日本最高の商業地“銀座”に、誕生するエリア最大の商業施設

ワールドクラスクオリティの241ブランドが集結し、銀座に新たな顔を創り出す。

銀座エリア最大の商業施設面積約47,000㎡(約14,200坪)に、241のブランドが集結。世界のコレクションで注目される旬なブランドが揃い、ここに来れば日本の今がわかる、世界の最新トレンドが体感できる、最高の店舗ラインナップを実現しました。

ファッション以外にも、暮らしを彩るライフスタイル雑貨や、こだわりのレストラン・カフェなどが揃います。また、上質な空間、メンバーシッププログラム、プレミアムサービス、クリエイティブなアートやイベントにより、充実の時間と体験を提供します。それにより作りだされる最高の環境に、ブランドが独自の世界観を余すところなく表現することで、これまでにないユニークな商業施設となります。



■フロア構成:

- 地下2階 食物販
- 地下1階 ビューティ
- 1階～5階 ファッション、服飾雑貨、ライフスタイル雑貨、カフェ他
- 6階 書籍、レストラン他
- 13階(一部) レストラン、バンケット他

■商業施設面積：約47,000㎡(約14,200坪)

■商業施設就労者数：約3,000人



商業施設内観(イメージパース)



商業施設内観(イメージパース)

商業施設の共用部インテリアデザインは、キュリオシティ/グエナエル・ニコラ氏が担当。面積が約47,000㎡もある巨大な商業空間を、親しみやすくわかりやすいものにするため、「人」の感情や身体感覚を第一に考えたヒューマンスケールの空間を創出します。

銀座や京都に残る路地をイメージして、通路を適度に雁行させることで、そぞろ歩く楽しみを演出。また、日本建築の障子や行燈などの光を参考に、風のように光が全体に回るよう計画しています。クオリティにこだわりマテリアルを吟味するなど、トータルな質の高さを重視しており、上質な空間が個々の店舗をさらに惹き立てます。



グエナエル・ニコラ氏 Gwenael Nicolas

1966年、フランス生まれ。E.S.A.G(パリ)でインテリアデザイン科、RCA(ロンドン)でインダストリアルデザイン科を卒業。インテリア、建築から化粧品、グラフィックデザインまでシームレスに活動。近年は、海外プレステージブランドのストアデザインをワールドワイドに展開。

<商業施設に関する報道関係の方のお問い合わせ>

GINZA SIX PR 事務局(株式会社サニーサイドアップ内)

担当:鈴木、岩崎、澤井、陶山 TEL:03-6894-3200 FAX:03-5413-3050

E-Mail: ginzasix_pr@ssu.co.jp

■文化・交流施設「観世能楽堂」(地下3階) ※開業は2017年4月20日予定

GINZA SIXの地下3階には、能楽最大流派である観世流の拠点「観世能楽堂」が移転。昨年3月に閉場した渋谷区松濤の能楽堂で長年使用されてきた舞台がそのまま移築され、最先端技術との調和による快適な空間演出が行われます。地域に開かれたホールとして、さまざまなイベントの開催も予定されており、日本の伝統文化の発信拠点として、銀座を国際的な観光地として盛り上げます。

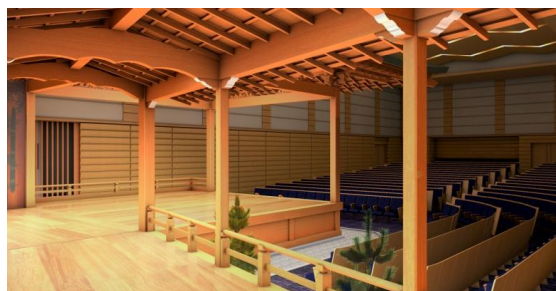
なお、本スペースは、災害発生時の帰宅困難者一時滞在スペースとしても活用されます。

・広さ:約1,600㎡

・客席数:480席



観世能楽堂(イメージパース)



観世能楽堂(イメージパース)

<観世能楽堂に関するお問い合わせ>

観世会事務所

TEL : 03-5778-4380

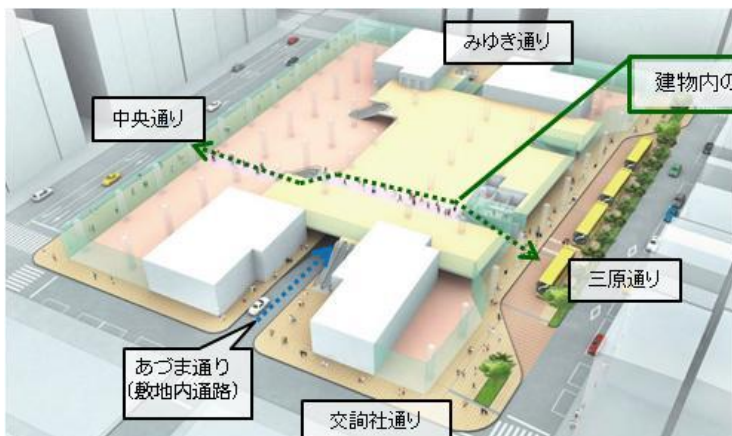
E-Mail : kanzekai@kanze.net

■地域貢献

「GINZA SIX」は、商業施設やオフィス、文化・交流施設などの多彩な都市機能とともに、屋上庭園や観光バス乗降所、安全で快適な交通・歩行者ネットワーク、また、非常用発電設備や防災用備蓄倉庫などの防災支援機能も整備し、地域に開かれた場所として、来街者の利便性や快適性向上に大きく貢献します。

(1)安全で快適な交通・歩行者ネットワークの拡充

- ・歩行者動線のバリアフリー化を図るとともに、来街者の回遊性や利便性の向上を図ります。
- ・地下鉄「銀座駅」から当施設までを地下で直結する地下連絡通路の整備(開業後に整備、開通予定)
- ・歩車分離された「あづま通り」(敷地内通路)と、中央通りと三原通りをつなぐ建物内の歩行者専用通路の整備
- ・駐車場(515台)、公共駐輪場(400台)の整備



歩行者専用通路の整備イメージ



(2)「観光バス乗降所」(1階)、「ツーリストサービスセンター」(1階)

「観光バス乗降所」(1階) ※運用開始は 2017 年 4 月 20 日以降を予定

三原通りに面して、観光バス乗降所を設置。“銀座の玄関口”として機能を整備することで、銀座エリア全体に貢献する、国際的な商業・観光拠点を形成します。



観光バス乗降所(イメージパース)

「ツーリストサービスセンター」(1階) ※開業は 2017 年 4 月 20 日予定

国内外からのお客様に向けて、観光案内や外貨両替、免税、手荷物預かり、宅配、こだわりのお土産も扱うコンビニエンスストアなど、便利な機能をワンストップで備えた「ツーリストサービスセンター」を設置。カフェも併設し、トラベラー同士のコミュニケーションの場としても機能します。



ツーリストサービスセンター内観(イメージパース)



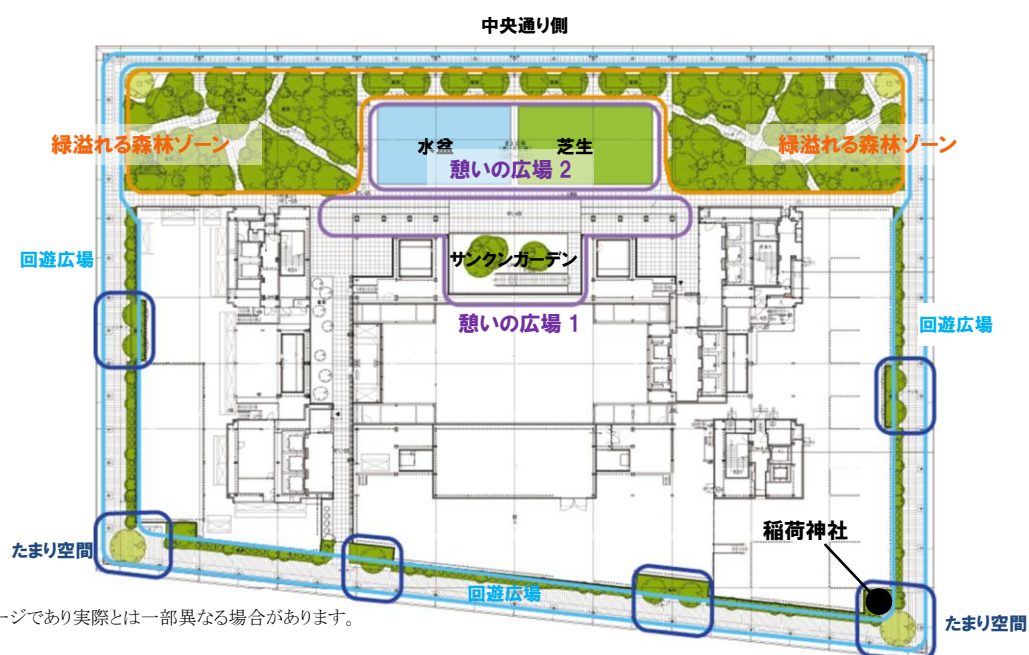
ツーリストサービスセンター外観(イメージパース)

(3)屋上庭園「GINZA SIX ガーデン」 ※一般開放は2017年4月20日予定

「自然に親しむ近世江戸の庭園文化」と、「街の賑わいを楽しむ西欧の広場文化」の融合がコンセプト

銀座エリア最大となる約4,000㎡の屋上庭園「GINZA SIX ガーデン」は、地上13階、高さ約56mの建築物屋上に位置し、屋上庭園の約56%にあたる約2,200㎡の緑地を新たに創出、世界中から銀座を訪れる人々に、憩いや交流の場を提供します。植栽は、「江戸の庭園文化」をコンセプトに、サクラやカエデ類など四季の移ろいを感じることができる樹種を採用、江戸の庶民の暮らしで身近に親しまれた庭園や園芸の文化を踏まえた計画です。また、「西欧の広場文化」をコンセプトに、イベント等における活用を重視した広場空間を屋上庭園中央部に配置。広場は、芝生敷きと水盆の2種で構成し、水盤は水を抜くことで平面利用も可能とする等、技術的な工夫により、多様なアクティビティを実現可能とします。

※GINZA SIXは、「緑の効果・効用を活かし、環境面での機能向上と共に、賑わいや憩いの空間としての緑地の利用機能を強化していること。また、新たな緑化技術への挑戦と情報発信する取り組み」などが高く評価され、『緑の創出により社会・環境に貢献する開発事業(都市開発版 SEGES)』として、認定されています。



※計画図はイメージであり実際とは一部異なる場合があります。



芝生広場(イメージパース)



緑溢れる森林ゾーン(イメージパース)



回廊広場(イメージパース)

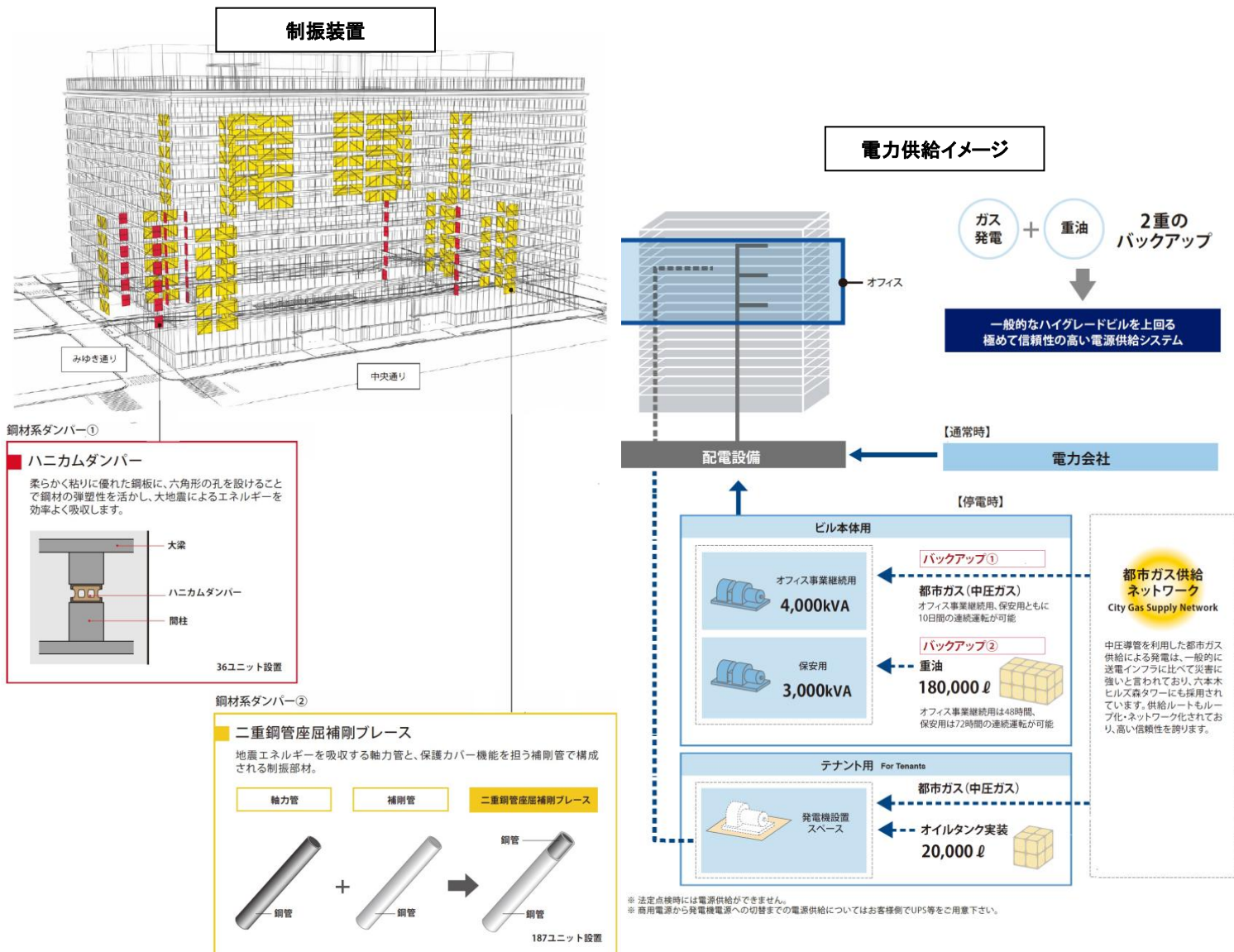


回廊内に設置された稲荷神社(イメージパース)

(4) 建物の高い耐震性と安定した電力供給

建物は、2種類の制震装置の採用により、阪神大震災や東日本大震災クラスの極めて稀に起こる大地震に遭遇しても構造体に大きな損傷を受けないレベルの性能を有しています。

また、電力供給も、電力会社の停電の影響を受けにくいスポットネットワーク方式を採用し、安定した電力供給を実現します。万が一、電力会社の供給が停止した際は、都市ガス(中圧ガス)により非常用発電機が稼働。さらに、都市ガスの供給も停止した場合には、この非常用発電機を重油で稼働させ、連続供給(保安用72時間、オフィス事業継続用48時間)することが可能です。



(5) 防災備蓄と帰宅困難者の受入れ

災害発生時は、帰宅困難者3,000人の受入れに対応できるよう、食料や水、毛布など災害時に必要な物品を保管する備蓄倉庫を整備しているほか、地下3階の文化・交流施設「観世能楽堂」等を一時滞在スペースとして活用できるよう備えています。

< 帰宅困難者 3,000人×3日間の受け入れを想定した備蓄 >

- 水 (3L×3,000人/日×3日=27,000L)
- 食料 (3食×3,000人/日×3日=27,000食)
- 簡易トイレ (45,000回)
- ブランケットやエマージェンシーシート、エアマットなど



※備蓄倉庫イメージ